

2025年度  
南山大学奨学金案内



ポイント

- ・ 給付型奨学金（返還不要）+ 授業料減免
- ・ 高校予約（入学前）だけでなく、入学後でも申込可能
- ・ 年に2回（春・秋）の申込みタイミング
- ・ 2年次以上でも申込可能
- ・ 要件を満たした学生全員が支援を受けられます
- ・ 出願制（出願しなければ支援は受けられません）
- ・ 2025年度より多子世帯の所得制限がなくなりました

<b>対象者</b>	1. 学部生（日本国籍を有する者、在留資格が永住者・定住者・家族滞在・日本人（永住者）の配偶者または子である外国籍の者） 2. 住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）、これに準ずる世帯（第Ⅱ区分・第Ⅲ区分）、理工学部在籍する中間層世帯（第Ⅳ区分）、多子世帯 ※4月申請者は前々年、9月申請者は前年の世帯収入で審査されます。 ※多子世帯とは、扶養される子供が3人以上の世帯を言います。 3. 高等学校等を初めて卒業（修了）した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない者																																																																
<b>給付額（月額） 減免額（年額）</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支援区分</th> <th colspan="2">給付奨学金</th> <th colspan="2">授業料等減免</th> </tr> <tr> <th>自宅通学 (月額)</th> <th>自宅外通学 (月額)</th> <th>授業料減免 (年額)</th> <th>入学金減免 (新入生のみ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">多子世帯 以外</td> <td>第Ⅰ区分</td> <td>38,300円 (42,500円)</td> <td>75,800円</td> <td>700,000円</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅱ区分</td> <td>25,600円 (28,400円)</td> <td>50,600円</td> <td>466,700円</td> <td>166,700円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅲ区分</td> <td>12,800円 (14,200円)</td> <td>25,300円</td> <td>233,400円</td> <td>83,400円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅳ区分 (理工農系)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>233,400円</td> <td>83,400円</td> </tr> </tbody> </table>				支援区分	給付奨学金		授業料等減免		自宅通学 (月額)	自宅外通学 (月額)	授業料減免 (年額)	入学金減免 (新入生のみ)	多子世帯 以外	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円	700,000円	250,000円	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円	466,700円	166,700円	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円	233,400円	83,400円	第Ⅳ区分 (理工農系)	—	—	233,400円	83,400円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支援区分</th> <th colspan="2">給付奨学金</th> <th colspan="2">授業料等減免</th> </tr> <tr> <th>自宅通学 (月額)</th> <th>自宅外通学 (月額)</th> <th>授業料減免 (年額)</th> <th>入学金減免 (新入生のみ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">多子世帯</td> <td>第Ⅰ区分 (多子世帯)</td> <td>38,300円 (42,500円)</td> <td>75,800円</td> <td rowspan="5">700,000円</td> <td rowspan="5">250,000円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅱ区分 (多子世帯)</td> <td>25,600円 (28,400円)</td> <td>50,600円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅲ区分 (多子世帯)</td> <td>12,800円 (14,200円)</td> <td>25,300円</td> </tr> <tr> <td>第Ⅳ区分 (多子世帯)</td> <td>9,600円 (10,700円)</td> <td>19,000円</td> </tr> <tr> <td>区分外 (多子世帯)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				支援区分	給付奨学金		授業料等減免		自宅通学 (月額)	自宅外通学 (月額)	授業料減免 (年額)	入学金減免 (新入生のみ)	多子世帯	第Ⅰ区分 (多子世帯)	38,300円 (42,500円)	75,800円	700,000円	250,000円	第Ⅱ区分 (多子世帯)	25,600円 (28,400円)	50,600円	第Ⅲ区分 (多子世帯)	12,800円 (14,200円)	25,300円	第Ⅳ区分 (多子世帯)	9,600円 (10,700円)	19,000円	区分外 (多子世帯)	—	—
支援区分	給付奨学金		授業料等減免																																																														
	自宅通学 (月額)	自宅外通学 (月額)	授業料減免 (年額)	入学金減免 (新入生のみ)																																																													
多子世帯 以外	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円	700,000円	250,000円																																																												
	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円	466,700円	166,700円																																																												
	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円	233,400円	83,400円																																																												
	第Ⅳ区分 (理工農系)	—	—	233,400円	83,400円																																																												
支援区分	給付奨学金		授業料等減免																																																														
	自宅通学 (月額)	自宅外通学 (月額)	授業料減免 (年額)	入学金減免 (新入生のみ)																																																													
多子世帯	第Ⅰ区分 (多子世帯)	38,300円 (42,500円)	75,800円	700,000円	250,000円																																																												
	第Ⅱ区分 (多子世帯)	25,600円 (28,400円)	50,600円																																																														
	第Ⅲ区分 (多子世帯)	12,800円 (14,200円)	25,300円																																																														
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	9,600円 (10,700円)	19,000円																																																														
	区分外 (多子世帯)	—	—																																																														
※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人は、（）内の金額となります。																																																																	
<b>支援期間</b>	卒業までの最短修業年限 ※継続にあたっては、毎年度、学業基準・家計基準それぞれにおいて審査が行われます。審査結果によっては、最短修業年限未満であったとしても、停止や廃止、支援区分が変更となる可能性があります。																																																																
<b>申込時期</b>	（春）4月（4月から支援開始）、（秋）9月（10月から支援開始）																																																																
<b>学業基準</b>	<b>新入生</b> 次の①～③のいずれかに該当すること ①高等学校等における学習成績の状況が3.5以上であること ②高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ③将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること <b>在学生（入学後1年以上を経過した人）</b> 次の①または②のいずれかに該当すること ①GPA（累積）が在学する学部等における上位2分の1の範囲に属すること ②修得した単位数（累積）が標準修得単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること																																																																
<b>収入基準</b>	住民税非課税世帯とこれに準ずる世帯 および 理工学部在籍する中間層世帯 または 多子世帯  収入基準を満たすかどうかについては、「進学資金シミュレーター（日本学生支援機構 Web ページ）」で確認することができます。 <a href="https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/">https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/</a>																																																																
<b>資産基準</b>	申込日時点の本人と生計維持者の資産額の合計が下表の基準額未満であること（基準額以上の場合は、支援対象となりません） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>基準額（本人＋生計維持者の資産額の合計）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第Ⅰ区分～第Ⅳ区分であって、多子世帯ではない場合</td> <td>5,000万円未満</td> </tr> <tr> <td>多子世帯の場合</td> <td>3億円未満</td> </tr> </tbody> </table> ※現金、預貯金、満期や解約により現金化した保険など、金融資産に限られます。土地・建物等の不動産は対象外です。								区分	基準額（本人＋生計維持者の資産額の合計）	第Ⅰ区分～第Ⅳ区分であって、多子世帯ではない場合	5,000万円未満	多子世帯の場合	3億円未満																																																			
区分	基準額（本人＋生計維持者の資産額の合計）																																																																
第Ⅰ区分～第Ⅳ区分であって、多子世帯ではない場合	5,000万円未満																																																																
多子世帯の場合	3億円未満																																																																

（参考）日本学生支援機構Webページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>



文部科学省Webページ  
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



II 南山大学給付奨学金・友の会給付奨学金・同窓会給付奨学金

給付型（経済支援型）

ポイント

- ・ 給付型奨学金（返還不要）
- ・ 奨学金を一括支給
- ・ 出願制（出願しなければ支援は受けられません・毎年出願可能）

種類	南山大学給付奨学金、南山大学友の会給付奨学金、南山大学同窓会給付奨学金			
対象者	学部生（大学院生は対象外）			
		南山大学	友の会	同窓会
	対象学年	全学年	1年次	2年次以上
	※最短修業年限を超えて在学の学生を除く。			
給付額・採用人数	2025年度			
		南山大学	友の会	同窓会
	給付金額	300,000円	300,000円	300,000円
	採用人数	50名	22名	30名
申込時期	6月頃			
支給時期	12月頃			
出願要件	①出願年度春学期までに修得した単位数（累積）が標準修得単位数以上であり、GPA（累積）が2.0以上であること ※標準修得単位数とは、卒業に必要な単位数を修業年限で割り、在学年数をかけた数値となります。			
	②出願年度において授業料等の減免を受けていないこと ※ただし、南山大学同窓会給付奨学金のみ、高等教育の修学支援新制度との併給可。			
	③出願エントリーが必須			
選考基準	経済的困窮度（収入制限なし）、成績、その他（南山大学同窓会給付奨学金については、地域性も考慮の上、選考を行います。）			

III 南山大学奨励奨学金（単年度支給）

給付型（奨励型）

ポイント

- ・ 出願不要（成績・戦績等に基づき、大学で選考を行います）
- ・ 留学生も対象
- ・ 学業成績または、学術・文化・スポーツの分野における成果での選考

対象者	学部生・大学院生 ※大学院生は、学術・文化・スポーツの分野のみ 次の①または②のいずれかに該当すること		
	①当該年度学部長表彰被表彰者（学業成績）		
	②前年度学生部長表彰被表彰者（学術・文化・スポーツ）		
給付額・採用人数		学業	学術・文化・スポーツ（個人）
	給付金額	200,000円	300,000円
	採用人数	各学部4名	制限無し
	対象学年	2年次生以上	全学年
		学術・文化・スポーツ（団体）	500,000円
			制限無し
			全学年
支給時期	10月頃		
選考基準	<b>学業</b>		
	前年度の学業成績		
	<b>学術・文化・スポーツ</b> 前年の活動のうち、次の①～③のいずれかに該当するもの		
	①全国規模の大会、競技会において入賞した者 ②県大会規模の大会、競技会において1位入賞した者 ③上記①②に相当する成績を収めた者		

※学術・文化・スポーツの分野（団体）については、別に複数年度支給の制度があります。複数年度支給の制度については、出願が必要となります。

IV 日本学生支援機構貸与奨学金 貸与型（経済支援型）

ポイント

- ・ 高校予約（入学前）だけでなく、入学後でも申込可能
- ・ 在学中は返還不要（卒業後に返還）
- ・ 年に2回（春・秋）の申込みタイミング
- ・ 2年次以上でも申込可能
- ・ 要件を満たした学生全員が支援を受けられます
- ・ 出願制（出願しなければ支援は受けられません）

種別	第一種奨学金	第二種奨学金												
対象者	日本国籍を有する者、在留資格が永住者・定住者・家族滞在・日本人（永住者）の配偶者または子である外国籍の者 ※最短修業年限を超えて在学の学生を除く。													
利子	無利子	有利子 ※上限利率（年利3%）												
貸与月額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通学形態</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>20,000円, 30,000円, 40,000円, 54,000円</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>20,000円, 30,000円, 40,000円, 50,000円, 64,000円</td> </tr> </tbody> </table> ※自宅外通学の人は自宅通学の月額も選択可能。	通学形態	金額	自宅	20,000円, 30,000円, 40,000円, 54,000円	自宅外	20,000円, 30,000円, 40,000円, 50,000円, 64,000円	20,000円～120,000円までの間で、1万円単位で額を選択						
通学形態	金額													
自宅	20,000円, 30,000円, 40,000円, 54,000円													
自宅外	20,000円, 30,000円, 40,000円, 50,000円, 64,000円													
貸与開始月	(春) 4月 (秋) 10月	(春) 4月～7月の間で希望する月 (秋) 10月～12月の間で希望する月												
貸与期間	卒業までの最短修業年限 ※継続にあたっては、毎年度、学業成績等に基づいて適格認定（審査）が行われます。審査結果によっては、最短修業年限未満であったとしても、停止や廃止となる可能性があります。													
申込時期	(春) 4月 (秋) 9月													
学力基準	<b>1年次生</b> 次の①または②のいずれかに該当すること ①高等学校等最終2カ年の学習成績の状況が3.5以上であること ②高等学校卒業程度認定試験合格者  <b>2年次生以上</b> 前年度までの成績が、本人の属する学部（学科）の上位1/3以内であること	前年度までの成績が平均水準以上であること ※1年次生の場合は、出身高等学校等の成績が平均水準以上であること、または高等学校卒業程度認定試験合格者												
家計基準	(参考) 4人世帯の場合（年収・所得の上限額の目安金額） <table border="1"> <thead> <tr> <th>通学形態</th> <th>給与所得者</th> <th>給与所得者以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>880万円</td> <td>613万円</td> </tr> </tbody> </table> ※生計維持者（原則父母）の年収（給与収入の場合）・所得金額（給与以外の収入の場合）から特別控除額等を差し引いた金額（認定所得金額）が、世帯人数ごとに設定された収入基準額以下である必要があります。家計基準については、日本学生支援機構によって判定されます。	通学形態	給与所得者	給与所得者以外	自宅	880万円	613万円	(参考) 4人世帯の場合（年収・所得の上限額の目安金額） <table border="1"> <thead> <tr> <th>通学形態</th> <th>給与所得者</th> <th>給与所得者以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>1,309万円</td> <td>937万円</td> </tr> </tbody> </table> ※生計維持者（原則父母）の年収（給与収入の場合）・所得金額（給与以外の収入の場合）から特別控除額等を差し引いた金額（認定所得金額）が、世帯人数ごとに設定された収入基準額以下である必要があります。家計基準については、日本学生支援機構によって判定されます。	通学形態	給与所得者	給与所得者以外	自宅	1,309万円	937万円
通学形態	給与所得者	給与所得者以外												
自宅	880万円	613万円												
通学形態	給与所得者	給与所得者以外												
自宅	1,309万円	937万円												
	収入基準を満たすかどうかについては、「進学資金シミュレーター（日本学生支援機構 Web ページ）」で確認することができます。 <a href="https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/">https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/</a>													
	  第一種奨学金の目安金額	  第二種奨学金の目安金額												
	  第一種・第二種併用貸与の目安金額													
保証制度	「人的保証制度」または「機関保証制度」のいずれかを選択 <table border="1"> <thead> <tr> <th>人的保証制度</th> <th>機関保証制度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連帯保証人（原則として父または母）と保証人（父母を除く4親等内の成年親族のうち、本人および連帯保証人とは別生計かつ出願時に65歳未満のもの）を選任する。</td> <td>保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証する。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれる。</td> </tr> </tbody> </table>		人的保証制度	機関保証制度	連帯保証人（原則として父または母）と保証人（父母を除く4親等内の成年親族のうち、本人および連帯保証人とは別生計かつ出願時に65歳未満のもの）を選任する。	保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証する。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれる。								
人的保証制度	機関保証制度													
連帯保証人（原則として父または母）と保証人（父母を除く4親等内の成年親族のうち、本人および連帯保証人とは別生計かつ出願時に65歳未満のもの）を選任する。	保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証する。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれる。													

V 給付型

種別	高等教育の修学支援新制度（家計急変採用）	南山大学創立 50 周年記念奨学金									
支援内容	給付型奨学金（返還不要）+ 授業料減免	給付型奨学金（返還不要）									
給付額	日本学生支援機構給付奨学金のページを参照（p.1）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>給付金額</th> <th>採用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 種</td> <td>700,000 円</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>第 2 種</td> <td>350,000 円</td> <td>6 名</td> </tr> </tbody> </table>	種別	給付金額	採用人数	第 1 種	700,000 円	2 名	第 2 種	350,000 円	6 名
種別	給付金額	採用人数									
第 1 種	700,000 円	2 名									
第 2 種	350,000 円	6 名									
減免額	日本学生支援機構給付奨学金のページを参照（p.1）										
支援期間	卒業までの最短修業年限 <small>※毎年度、学修状況（学業基準）に基づき審査が行われます。審査結果によっては、最短修業年限未満であったとしても、停止や廃止となる可能性があります。</small> <small>※原則 3 ヶ月毎に、急変事由が生じた後の所得（家計基準）に基づき、審査が行われます。審査にあたっては、給与明細や帳簿等の提出が求められます。</small>	一時金として一括で支給									
申込時期	随時 <small>※ただし、家計急変事由の発生から 3 ヶ月以内（新入生は、進学後 3 ヶ月以内）の申請が必要</small>	6 月頃									
支援時期	随時	9 月頃									
出願要件	家計急変事由（生計維持者の死亡、事故・病気（による就労困難）、失職※、震災・火災・風水害等による被災、家庭内暴力からの避難）に該当し、対応する証明書類の提出が可能であって、高等教育の修学支援新制度のその他の出願要件を満たすこと <small>※定年退職や自己都合退職等の自発的失業は含みません。</small>	前年度に、主たる生計維持者の死亡、離別または失業により、日本学生支援機構第一種奨学金緊急採用・第二種奨学金応急採用に推薦されたこと、または、南山大学随時奨学金の貸与が決定されていること									

VI 貸与型

種別	日本学生支援機構		南山大学随時奨学金						
	第一種（緊急採用）	第二種（応急採用）							
利子	無利子	有利子 <small>※上限利率（年利 3%）</small>	在学中は無利子						
貸与月額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通学形態</th> <th>金額（月額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 54,000 円から選択</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 50,000 円, 64,000 円から選択</td> </tr> </tbody> </table> <small>※自宅外通学の人は自宅通学の月額も選択可能。</small>	通学形態	金額（月額）	自宅	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 54,000 円から選択	自宅外	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 50,000 円, 64,000 円から選択	20,000 円～ 120,000 円までの間で、1 万円単位で額を選択	支援を希望する学期の授業料、教育充実費／施設設備費、LL 実習費（英米学科のみ）相当額
通学形態	金額（月額）								
自宅	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 54,000 円から選択								
自宅外	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 50,000 円, 64,000 円から選択								
貸与開始月	家計急変の事由が生じた月以降で希望する月 <small>※新入生の場合は、入学月より前に遡ることはできません。</small>	申込年度4月以降で希望する月	随時						
貸与期間	卒業までの最短修業年限 <small>※毎年度、学業成績等に基づいて適格認定（審査）が行われます。審査結果によっては、最短修業年限未満であったとしても、停止や廃止となる可能性があります。</small>		原則 2 学期以内						
申込時期	随時 <small>※ただし、家計急変事由の発生した月の翌月を起点として 12 ヶ月以内（新入生は、進学後3ヵ月以内）の申請が必要</small>		随時						
出願要件	家計急変事由（生計維持者の失職、死亡、離別、破産、病気、事故、会社倒産、経営不振、震災・火災・風水害等による被災）に該当し、対応する証明書類の提出が可能であって、日本学生支援機構貸与奨学金のその他の出願要件を満たすこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生計維持者の死亡、倒産、その他の事由により家計状況が急に悪化したこと</li> <li>・学業成績が平均水準以上であること</li> </ul>						

Ⅶ 民間奨学財団・地方公共団体の奨学金一覧<2024年度実績>

<給付奨学金>

※ 出願者数・採用者数は、上段：2023年度実績、下段：2024年度実績。

団体名・奨学金名	出願方法	対象	金額	期間	その他の出願条件	併給可否	出願者数	採用者数
出雲殿財団	直接応募	学部3年次生	年額 480,000円	2年間 (3・4年次)	募集年度4月1日現在、25歳以下であること。GPA3.0以上。	可	1 6	0 1
市原国際奨学財団	大学推薦	学部生・大学院生	月額 50,000円	1年間 (継続応募可能)	特になし。	給付型は不可	1 0	1 0
エイブル文化振興財団	直接応募	学部生	年額 400,000円	一括支給	特になし。	可	直接応募のため不明 直接応募のため不明	
OBC和田財団	大学推薦	学部2年次生	月額 40,000円	最短修業年限	奨学金の給付は年齢が満25歳に達する年度まで。	JASSOを除く他の給付型は不可	1 1	1 1
ODA・トップ財団	直接応募	学部生	月額 50,000円	2年間または最短修業年限	特になし。	可	直接応募のため不明 直接応募のため不明	
樺山奨学財団	大学推薦 (指定校制)	学部1年次生	月額 60,000円	最短修業年限	特になし。	不可	6 1	採用後辞退 1 1
キーエンス財団	直接応募	学部1年次生	月額 100,000円	最短修業年限	募集年度4月1日現在、20歳以下であること。	給付型は不可	- -	2 2
キーエンス財団 (応援給付金)	直接応募	学部2年次生以上	一括 300,000円	一括支給	募集年度4月1日現在、23歳以下であること。	可	- -	28 11
楠田育英会	大学推薦 (指定校制)	学部2年次生以上	月額 30,000円	最短修業年限	学内外での活動、ボランティア活動などの実践活動を積極的に行っていること。	可	0 1	0 0
JEES・仙石知子SEWS奨学金	大学推薦	学部2年次生以上	月額 50,000円	最長2年間	英語能力に係る試験結果を重視。	JASSOを除く他の給付型は不可	- 2	- 1
JEES日本語教育普及奨学金	大学推薦	学部生・大学院生	月額 50,000円	2年間または最短修業年限	日本語指導者を目指す者。出願時前年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。	可 ただし、JASSOを除く他の給付型で給付額が年額6万円以下のもの	1 1	1 1
G-7奨学財団	大学推薦	学部生・大学院生	年額 (最大) 1,200,000円	1年間 (継続応募可能)	学部1年次生は、高校3年間の学習成績の状況が4.0以上。学部2年次生以上は、原則として、GPA3.1以上。	可 ただし支給額を調整する場合あり	4 8	0 1
春秋育英会	大学推薦 (指定校制)	学部生	月額 30,000円	最短修業年限	原則として、卒業時年齢が26歳を超えないこと。	可	11 7	2 3
スリーエス財団	大学推薦	学部2年次生以上・大学院生(専門職学位課程を除く)	月額 30,000円	最短修業年限	募集年度4月1日現在、学部生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。GPA3.0以上。	可	5 4	0 1
大幸財団 (育英奨学生)	大学推薦	学部2年次生以上	一括 (最大) 480,000円	1年間	特になし。	可	9 10	4 2
大幸財団 (学芸奨励生)	大学推薦	大学院修士2年次生以上	一括 (最大) 480,000円	1年間	特になし。	可	1 5	1 2
大幸財団 (丹羽奨励生)	大学推薦	学部生・大学院生	一括 (最大) 500,000円	一括支給	芸術・文化、体育・スポーツの分野において高い評価・優秀な成績をあげたこと。	可	0 1	0 1
朝鮮奨学会 (学部生)	直接応募	学部生	月額 25,000円	1年間 (継続応募可能)	韓国人・朝鮮人であること。募集年度4月1日現在、満30歳未満であること。学部1年次生は、高校3年次の学習成績の状況が3.2以上。学部2年次生以上は、GPA2.7以上。	可	- -	2 2
朝鮮奨学会 (大学院生)	直接応募	大学院生	月額 修士・専門職 40,000円 博士後期 70,000円	1年間 (継続応募可能)	韓国人・朝鮮人学生であること。募集年度4月1日現在、満40歳未満であること。	可	- -	0 0
朝鮮人奨学生	直接応募	学部生	年額 1年次生 160,000円 2年次生以上 200,000円	1年間 (毎年再審査有り)	在日朝鮮人学生であること。30歳未満であること。	JASSOを除く他の給付型は不可	直接応募のため不明 直接応募のため不明	
TCS奨学会	直接応募	学部生・大学院生 (修士・博士前期課程)	月額 50,000円	1年間	進学・進級見込みであること。GPA2.9以上	可	直接応募のため不明 直接応募のため不明	

Ⅶ 民間奨学財団・地方公共団体の奨学金一覧<2024年度実績>

<給付奨学金>

※ 出願者数・採用者数は、上段：2023年度実績、下段：2024年度実績。

団体名・奨学金名	出願方法	対象	金額	期間	その他の出願条件	供給可否	出願者数	採用者数
戸部眞紀財団	直接応募	学部3年次生以上・大学院生（専門職学位課程を除く）	月額 60,000円	2年間 (継続審査の結果により最長4年間)	化学・食品科学・芸術学（デザイン学）・体育学（スポーツ科学）・経営学に関する研究を行っていること。募集年度4月1日現在で30歳以下であること。	可	直接応募のため不明	直接応募のため不明
中村積善会	大学推薦 (指定校制)	学部生・大学院生	月額 50,000円	最短修業年限	出願時に40歳を超えていないこと。	可	15 17	2 2
似鳥国際奨学財団	直接応募	学部生・大学院生 (修士・博士前期課程)	月額 50,000円	1年間	学部生は23歳以下、大学院生は25歳以下であること。	給付型は不可	直接応募のため不明	直接応募のため不明
野田育英財団	大学推薦 (指定校制)	学部2年次生	年額 720,000円	最短修業年限	社会科学分野における経済学、経営学分野の勉学に励む者。	JASSOを除く他の給付型は不可	0 0	0 0
松口奨学会	大学推薦	学部1・2年次生	月額 50,000円	最短修業年限	1年次生:高校の学習成績の状況が4.0以上 2年次生:1年次の修得単位数A+とAの合計>C	可	4 10	1 2
三菱UFJ信託奨学財団	大学推薦 (指定校制)	学部2年次生	月額 40,000円	最短修業年限	外国語・経済・経営・法学部の学生。出願年度4月1日現在、満23歳以下であること。	可	8 5	1 2
横山育英財団	大学推薦	学部生・大学院生	月額 18,000円	最短修業年限	特になし。	可	5 3	1 1
横山奨学財団	大学推薦 (指定校制)	学部生・大学院生 (専門職学位課程を除く)	学部生35,000円 修士課程50,000円 博士課程71,000円	1年間	特になし。	JASSOを除く他の給付型は不可	- 8	- 5
米濱・リンガーハット財団	大学推薦	学部2年次生以上・大学院生（専門職学位課程を除く）	月額 20,000円	最短修業年限	鳥取県・長崎県内の高校を卒業していること。前年度までの成績（GPA）が3.0以上であること。3月31日現在で学部満23歳以下、大学院満33歳以下であること。	可	0 0	0 0
リンナイ奨学財団	大学推薦 (指定校制)	学部1年次生	月額 100,000円	最短修業年限	特になし。	給付型は不可	6 3	1 1
豊田市支給奨学生	大学推薦	学部生	月額 22,500円	1年間 (継続応募可能)	保護者が申請時点で豊田市内に1年以上居住していること。入学から申請時までの評定平均値がおおむね4.0以上であること。	JASSO給付型は不可	0 0	0 0

<給付+貸与奨学金>

※ 出願者数・採用者数は、上段：2023年度実績、下段：2024年度実績。

団体名・奨学金名	出願方法	対象	金額	期間	その他の出願条件	供給可否	出願者数	採用者数
交通遺児育英会 (学部生)	直接応募	学部生	月額 40,000・50,000・60,000円から選択 (内、20,000円は給付)	最短修業年限	保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障がいのために働けず、経済的に修学が困難な学生であること。出願時に25歳を超えていないこと。	可	0 0	1 0
交通遺児育英会 (大学院生)	直接応募	大学院生	月額 50,000・80,000・100,000円から選択 (内、20,000円は給付)	最短修業年限			0 0	0 0

<貸与奨学金>

※ 出願者数・採用者数は、上段：2023年度実績、下段：2024年度実績。

団体名・奨学金名	出願方法	対象	金額	期間	その他の出願条件	供給可否	出願者数	採用者数
あしなが育英会	大学推薦	学部生	月額 一般40,000円 特別50,000円	最短修業年限	保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要している家庭の子どもであること。	可	1 0	0 1
関育英奨学会	大学推薦	学部2年次生以上	月額 30,000円	最短修業年限	特になし。	可	0 0	0 0
岐阜県選奨生奨学金	大学推薦	学部生	月額 32,000円 JASSO貸与受給者は16,000円	最短修業年限	岐阜県内に住所を有する者の子弟であること。 1年次生:高校の学習成績の状況が3.5以上 2年次生:前年度の評定平均が「良」以上	可	0 0	3 0
清流の国ぎふ大学生等奨学金	直接応募	学部生	月額 60,000円	最短修業年限	岐阜県内の高等学校等を卒業し、県外に住所を有し、かつ、県外の大学等に在学していること。	可	直接応募のため不明	直接応募のため不明

\* 大学推薦は、学内選考を経て、大学より財団等へ推薦を行います。直接応募は、学内選考はなく、学生本人より直接財団に出願することになります。  
 \* 大学推薦が必要な複数の財団・団体への出願を行い、学内推薦を受けた場合は、その財団・団体での採否が決定するまでの間は、他に申請した財団・団体の学内選考において、学内推薦を受けていない学生より選考順位が下がります。また、同時に複数の財団に出願をした場合は、出願者全員の推薦が可能な財団への推薦を優先します。  
 \* 財団によって募集時期が異なります。大学に募集案内が届き次第、PORTA（南山大学ポータルシステム）・学生生活Webページでご案内します。

◆ 令和7年度から始まります ◆



# 多子世帯(子ども3人以上世帯) 授業料・入学金の無償化!



詳しくは本冊子P.1【高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)】をご確認ください。

## 奨学金窓口・問い合わせ先

学生課奨学金係(窓口取扱時間 平日 9:00 - 17:00)

E-mail: [scholarships-s@nanzan-u.ac.jp](mailto:scholarships-s@nanzan-u.ac.jp)

Phone: 052-832-3118

<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/fees-and-scholarships/>

(南山大学公式 Web ページ> 在学生の皆さま> キャンパスライフ・学生生活> 学費・奨学金)



南山大学奨学金LINE公式アカウント (@698vfkxk)

